



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミューチュアル
 コード番号 2773 URL <http://www.mutual.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 榎本 洋
 (氏名) 吉野 尊文

TEL 06-6315-8613

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,483	37.7	△108	—	△105	—	△64	—
28年3月期第1四半期	1,077	△28.9	△138	—	△123	—	△84	—

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △163百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △86百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△9.10	—
28年3月期第1四半期	△11.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
29年3月期第1四半期	14,350	—	8,359	—	56.7	1,145.06
28年3月期	15,167	—	8,701	—	55.8	1,191.88

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 8,132百万円 28年3月期 8,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	5,061	16.6	138	51.5	154	44.6	82	7.2
通期	12,600	0.4	1,034	12.3	1,049	9.7	615	2.8

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	7,620,320 株	28年3月期	7,620,320 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	518,345 株	28年3月期	518,345 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	7,101,975 株	28年3月期1Q	7,102,131 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株式市場の低迷や急速な円高の進行により、企業収益の改善ペースの鈍化や個人消費の停滞感が続いております。海外経済におきましても英国のEU（欧州連合）離脱、中国・新興国経済の減速及び、地政学リスク等による影響も懸念されることから、先行きの不透明感は高まっております。

このような状況下、当社グループではFOOMA JAPANやINTERPHEX JAPAN等の大型展示会を通じ、豊富な製商品を紹介し、新規顧客獲得、受注拡大に注力するとともに、人材の確保にも努め、営業力・技術力の増強を図って参りました。売上高につきましては、一部大口案件の検収が第2四半期以降にずれ込んでおりますが、連結子会社の業績が概ね順調に推移したこともあり前年同期比406百万円増加いたしました。損益面におきましては、売上高総利益率が前年同期比4.9ポイント低下しましたが増収効果もあり売上総利益は28百万円増加し、営業損益以下の段階利益は損失計上となりましたが、損失額は前年同期比で縮小いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,483百万円（前年同期比37.7%増）、売上総利益は297百万円（同10.7%増）、営業損失は108百万円（前年同期は138百万円の損失）、経常損失は105百万円（前年同期は123百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は64百万円（前年同期は84百万円の損失）となりました。

報告セグメントに基づく各事業別の概況は以下の通りであります。

①産業用機械事業

当セグメントにおきましては、売上高全体では1,334百万円（前年同期比44.2%増）でありました。このうち、充填機が465百万円（同58.9%増）、包装機が324百万円（同144.8%増）、改造・調整・修理が248百万円（同3.4%増）、部品が192百万円（同26.0%増）、検査装置が97百万円（同22.5%増）と好調に推移いたしました。製剤機は6百万円（前年同期77.1%減）となりました。

②工業用ダイヤモンド事業

当セグメントにおきましては、売上高128百万円（前年同期比4.9%減）となりました。内訳では、パウダー18百万円（同30.4%増）人造ダイヤモンド71百万円（同7.3%減）、原石38百万円（同12.7%減）等となっております。

③その他

その他は、主に坐薬用包装資材の販売で売上高20百万円（前年同期比23.2%増）であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比816百万円減少し、14,350百万円となりました。これは主として前渡金が267百万円、仕掛品が158百万円、電子記録債権が235百万円増加する一方で、受取手形及び売掛金が1,157百万円、現金及び預金が317百万円減少したことによるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比475百万円減少し、5,991百万円となりました。これは主として、前受金が243百万円増加する一方で、支払手形及び買掛金、電子記録債務が合計で629百万円、未払法人税等が207百万円、減少したことによるものです。純資産は、主として配当金の支払い177百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失が64百万円により、8,359百万円となり前連結会計年度末比341百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第2四半期及び通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月20日付けで公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物

附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。
なお、この変更に伴う当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,240,976	3,923,593
受取手形及び売掛金	3,294,714	2,136,968
電子記録債権	845,366	1,080,876
有価証券	42,811	13,436
商品及び製品	71,444	79,265
仕掛品	1,951,438	2,110,090
原材料	68,086	72,634
前渡金	577,106	844,645
繰延税金資産	138,299	191,699
その他	109,835	125,836
貸倒引当金	△2,195	△2,531
流動資産合計	11,337,884	10,576,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	589,646	581,020
土地	668,904	668,904
その他(純額)	194,389	200,686
有形固定資産合計	1,452,940	1,450,611
無形固定資産		
その他	19,422	26,015
無形固定資産合計	19,422	26,015
投資その他の資産		
投資有価証券	1,765,534	1,704,243
長期預金	101,500	100,000
その他	1,111,019	1,114,049
貸倒引当金	△621,014	△621,013
投資その他の資産合計	2,357,039	2,297,279
固定資産合計	3,829,402	3,773,906
資産合計	15,167,286	14,350,421

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,414,259	2,714,577
電子記録債務	487,645	557,424
短期借入金	261,740	345,090
1年内返済予定の長期借入金	3,324	3,324
未払法人税等	214,932	7,624
前受金	1,400,496	1,644,341
賞与引当金	91,452	54,041
その他	241,654	344,937
流動負債合計	6,115,506	5,671,361
固定負債		
長期借入金	6,399	5,568
退職給付に係る負債	163,813	157,014
役員退職慰労引当金	78,224	79,440
その他	102,342	77,755
固定負債合計	350,779	319,779
負債合計	6,466,285	5,991,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	695,975	695,975
利益剰余金	6,655,058	6,412,858
自己株式	△262,493	△262,493
株主資本合計	7,758,239	7,516,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	729,771	670,946
繰延ヘッジ損益	△24,996	△55,817
為替換算調整勘定	1,663	988
その他の包括利益累計額合計	706,438	616,117
非支配株主持分	236,322	227,124
純資産合計	8,701,001	8,359,280
負債純資産合計	15,167,286	14,350,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,077,176	1,483,306
売上原価	808,029	1,185,461
売上総利益	269,147	297,845
販売費及び一般管理費	407,991	406,069
営業損失(△)	△138,844	△108,224
営業外収益		
受取利息	3,161	2,512
受取配当金	10,432	12,912
為替差益	4,438	—
その他	648	2,733
営業外収益合計	18,680	18,158
営業外費用		
支払利息	557	733
為替差損	—	7,397
投資有価証券評価損	2,045	7,025
その他	920	5
営業外費用合計	3,523	15,161
経常損失(△)	△123,686	△105,227
特別利益		
固定資産売却益	131	—
特別利益合計	131	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△123,554	△105,227
法人税、住民税及び事業税	1,006	2,480
法人税等調整額	△31,623	△36,814
法人税等合計	△30,616	△34,334
四半期純損失(△)	△92,938	△70,892
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,052	△6,241
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△84,885	△64,651

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△92,938	△70,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,108	△61,431
繰延ヘッジ損益	4,284	△30,821
為替換算調整勘定	△131	△674
その他の包括利益合計	6,261	△92,927
四半期包括利益	△86,676	△163,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△78,663	△154,972
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,012	△8,847

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

自己株式の取得及び自己株式の公開買付け

当社は、平成28年6月29日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定及び当社定款に基づく自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議し、以下のとおり実施しております。

1. 自己株式の取得及び自己株式の公開買付けを行う理由

当社は、主要株主である筆頭株主の有限会社エム・ティ・シー開発（当社創業家の資産管理業務を行っている会社であり、当社代表取締役会長の三浦隆が同社の代表取締役を務めております。）より、その保有する当社普通株式の一部を売却する意向がある旨の連絡を受けました。当社は、当該売却により、一時的にまとまった数量の株式が市場に放出されることによる当社普通株式の流動性及び市場価格への影響、並びに当社の財務状況等を総合的に鑑みるとともに当社の資本効率の向上及び株主への利益還元を図る目的から、当該株式を自己株式として取得することを検討いたしました。

その結果、当社が自己株式として取得することは、1株当たり当期純利益（EPS）及び自己資本当期純利益率（ROE）等の資本効率の向上に寄与し、株主に対する利益還元に繋がると同時に、かかる自己株式の取得を行った場合においても、当社の財務状況や配当方針に大きな影響を与えないものと判断いたしました。

また、自己株式の具体的な取得方法については、株主間の平等性、取引の透明性の観点から十分に検討を重ねた結果、公開買付けの手法が適切であると判断いたしました。

2. 自己株式の取得に関する取締役会決議内容

- | | |
|---------------|--------------------------|
| (1) 取得する株式の種類 | 普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 720,100株（上限） |
| (3) 取得価額の総額 | 561,678,000円（上限） |
| (4) 取得する期間 | 平成28年6月30日から平成28年8月31日まで |

3. 自己株式の取得終了について

- | | |
|---------------|------------------------------------|
| (1) 取得した株式の種類 | 普通株式 |
| (2) 取得した株式の総数 | 650,000株 |
| (3) 取得価額の総額 | 507,000,000円 |
| (4) 取得した期間 | 平成28年6月30日（木曜日）から平成28年7月28日（木曜日）まで |
| (5) 取得方法 | 公開買付けの方法による |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	925,236	135,523	1,060,760	16,416	1,077,176	—	1,077,176
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	925,236	135,523	1,060,760	16,416	1,077,176	—	1,077,176
セグメント利益又は損失(△)	△38,638	17,794	△20,843	3,961	△16,882	△121,961	△138,844

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△121,961千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,334,168	128,913	1,463,082	20,224	1,483,306	—	1,483,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,334,168	128,913	1,463,082	20,224	1,483,306	—	1,483,306
セグメント利益	18,451	12,546	30,998	2,718	33,717	△141,941	△108,224

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△141,941千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。